

# 「3.11を忘れないために」 畑の上のパネルに希望を託します。

パルシステムのおひさまシェアリング(千葉県香取市)

49kW



パルシステム千葉が、野菜を育てながら発電を行う「パルシステムのおひさまシェアリング」を設置したパートナーが、佐原農産物供給センター。首都圏近郊の、代表的な産直産地のひとつです。

昨年秋の台風に伴う突風で大破してしまった太陽光パネルも、今年1月にすべて再建。「震災と原発事故から6年。未だ終息していない事態に対して片時も忘れることなく、安全な野菜をお届け続ける覚悟の象徴が、この太陽光発電でもあるんです」と、自らの農地を自然エネルギーに活用する意義を語る代表の香取政典さん。さんさんと照らす日の光の下で、春先にはさつまいもの栽培が始まります。

組合員とともに  
新しいエネルギーづくりに  
貢献したい!



香取政典さん